

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 26 年度

市町村名	志木市		
提案事業名	志木市に暮らすと自然と健康になれるまちづくり事業		
事業期間	25 年度	～	25 年度
事業の必要性、目的	<p>今後、急激に増加する高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むためには、総合的な健康づくり政策の推進が喫緊の課題である。</p> <p>ついては、市内の中で28.2%と最も高齢化率の高い館地区をモデルとして、さまざまな健康長寿モデル事業を実施し、その効果を検証し、最終的には館地区だけでなく、志木市全体に健康施策を展開し「志木市に暮らすと自然と健康になれるまちづくり」をめざす。</p>		
成果指標	(成果を検証する指標)		
	平成26年度健康運動教室参加者の体力年齢の若返り(平均5.0歳)		
	(成果検証の具体的な方法)		
	握力、上体起こしなど、6項目から構成される体力テストの合計得点により評価する。(筑波大学の研究成果を基にした健康管理システム「e-wellnessシステム」の活用)		
	(上記の指標を設定した理由)		
	市民の体力年齢の向上は、健康長寿社会の実現に資するため。		
(成果の目標値)			
現状値 (26年4月現在)	事業開始時に測定	目標値 (27年3月時点)	平均△5.0歳
(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)	15,600	稼働率(目標)(%)	98%
住民への公表方法及び特記事項	市広報紙、ホームページ等を通じ、市民への公表を行う。		

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成25年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① エクササイズ ルーム整備事業	 館地区にある市民体育館の中にエクササイズルームを整備する。 整備したエクササイズルームにおいて、健康運動教室などのソフト事業を実施し、市内で最も高齢化率の高い館地区で中高齢者の寝たきり(介護)予防事業を実施する拠点施設整備するとともに、より多くの市民がいつでも健康づくりに参加できる環境の整備を図る。	28,939
②		
③ カフェ・ランチルーム 志木四小	 館地区にある志木第四小学校の余裕教室を活用し、市民が学校給食を食べたり、様々な介護予防事業へ参加する事業を実施し、高齢者同士の交流を深めるとともに、介護予防や高齢者の見守り、閉じこもり予防につなげる。	11,019
④ 高齢者いきいき 体操教室	 有資格者の指導による体操教室。高齢者を対象に、運動機能の維持・向上を目指した体操教室を行う。	6,872
合計		46,830

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	<p>紙広報紙、ホームページ等により健康運動教室の開催、エクササイズルームの利用について市民に周知する。</p> <p>また、健康運動教室については、参加者のライフスタイルを考慮したプログラムの設定と指導者の継続的な支援を行う。</p>
成果指標の達成見込み	<p>体力年齢の若返りについては、「e-wellnessシステム」を導入した複数の自治体の取組において効果が確認されており、本市においても成果指標の達成は可能と考える。</p> <p>また、エクササイズルームの利用者数についても、上記の方策を実施することで、成果指標の達成は可能と考える。</p>